

㈱伊賀の里モクモク手づくりファームでのインターンシップ体験レポート

実習の内容

農業、ものづくり、サービス・マーケティング 6次産業化を学ぶ。

実習で学んだこと

今回の二週間に亘るインターンシップは、普段の大学生活では味わえない、貴重な経験をさせてもらいました。

一つ目は、気配りの大切さです。入園のもぎりをを行い、実際の接客の現場を見て、接客にはコミュニケーション能力と気配りが大事であると感じました。ベビーカーを引いて入園するお客様に、私は手順通りに喋るのに精一杯でした。すると、スタッフの方が素早くお客様にスロープの案内をする姿を目にして、接客には気配りの力が重要であると感じました。

二つ目は、様々な年齢の方と話す機会に恵まれた事です。普段の生活の中では、家族、大学の先生方や同年代の学生たち等の限られた人たちとしか話しません。モクモクファームで働く社員の方はもちろん、毎日モクモクファームを訪れる年配の方から子供のお客様と話す経験ができました。

実習では、周囲の人に助けられ、たくさんお世話になりました。その事を忘れずに、感謝の気持ちを持って自分を成長させていきたいです。

実習を終えて

私はモクモク手づくりファームさんの元でインターンシップを行いました。私には参加するにあたって目的がありました。それは、社会に少し触れる事によって、就職活動について考えるきっかけとするためです。モクモクファームでは農業、水産業の第1次産業だけでなく、第2次産業の食品加工、第3次産業の流通、販売を自分たちで行う第6次産業を展開しています。自分にはどの産業部門が適しているのかを見つけるきっかけになったらと思い参加しました。私を含めた21名の研修生が2週間の共同生活の中でモクモクファームの農業、食品加工、サービスを体験しました。農業では、ブルーベリーとミニトマトの収穫を、食品加工では、小麦、豆腐の加工を体験しました。私はサービスに興味があったので、サービスを中心に体験させて頂きました。ファームが運営しているカフェやレストランでの接客や、野菜の卸業務、通販業務を体験させてもらいました。

実習を通して、異なる産業を実際に触れることができ自分の視野を広げることができました。これも研修生を受け入れ、ご指導頂きましたモクモクファームの皆様、他の研修生20名のお陰と心から感謝しています。私のようにきっかけを掴みたい人や、自分の興味ある産業に触れたいと考えている人は、是非モクモクファームのインターンシップに参加してみてください。温かい社員の方や頼もしい仲間が迎えてくれることと思います。

2014年8月

社会学部経営社会学科3年 若生 紀子